

# 第2期事業報告書

平成16年6月1日から 平成17年5月31日まで

特定非営利活動法人 芸術工房

## 1 事業の成果

第2期は、設立年度の事業結果を踏まえ、文化事業において市民が行政や芸術施設に協力する体制づくりに力を入れて活動しました。その主なものは、花巻市文化会館や岩手中部地区広域市町村圏事務組合からの業務の受託、文化庁のモデル事業として実施したさくらホールの公演アンケート調査や鑑賞モニター調査です。特に、さくらホールに対しては、業務は小さくても協働を行うひとつのモデルとなったことは、大きな成果といえるでしょう。

一方、芸術団体を対象とする普及活性化事業は、合唱祭や第九演奏会の収録CD・DVD製作、能・狂言公演のスタッフ協力等を実施したものの、子供を対象とする人材育成事業については、ほとんど行いませんでした。

しかし、その他の事業として計画した会員強化や地域通貨事業についても文化庁のモデル事業で実施し、「芸術サポーター養成講座」がフロント業務を協働するきっかけになると同時に、会員通貨が活動報酬として流通し始めました。また、鑑賞促進事業についても、チケットの割引特典や通貨利用の仕組みが浸透し始めており、会員の増加が期待されています。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名		事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(事業費)〔千円〕
行政機関協働事業	イベント協力事業	音楽祭の収録CDや岩手中部地区紹介DVDの製作を受託した。	12～3月	花巻市文化会館 岩手中部広域組合	4人	行政及び関係者 100人	213
		黒沢尻西公民館まつりの舞台技術スタッフを担当した。	3月	日本現代詩歌文学館	3人	公民館及び地区住民 200人	29
	芸術鑑賞促進事業	販売しなかった。					
芸術施設協働事業	イベント協力事業	実施しなかった。					
	芸術鑑賞促進事業	さくらホールの主催事業のチケットを割引販売した。	10月4月	さくらホール	1人	さくらホール 会員13人	75
	施設利用促進事業	実施しなかった。					
	情報活用事業	鑑賞モニター募集と公演アンケート集計を行った。	12～5月	さくらホール	5人	さくらホール モニター67人	62
普及活性化事業	イベント協力事業	演奏会収録CD製作と公演準備の手伝いを行った。	通年	さくらホール	12人	芸術5団体 500人	447
	芸術鑑賞促進事業	芸術団体が主催する公演のチケットを割引販売した。	通年	さくらホール	1人	主催6団体 会員15人	17
人材育成事業		公演のチラシ製作を担当した。	9月	さくらホール	1人	主催者 子供達28人	14
その他の事業	会員強化事業	会員募集と能力アップのためのスタッフ研修を行った。	11～12月	さくらホール	3人	会員・市民 34人	351
	地域通貨事業	地域通貨を制定しサービスを開始した。	12～5月	事務局	1人	レギュラー 会員18人	53
	10倍楽しむ法	公演主催者を招き、事前説明を聞く機会を設けた。	4～5月	さくらホール	2人	会員・市民 20人	6

### (2) 収益事業及びその他の事業

なし